回 覧

学校のこれから通信（坂下中学校区） No.6

（発行） 令和8年10月23日(金)
春日井市教育委員会事務局 学校教育課
新たな学校づくり推進室
TEL : 0568-85-6149
Mail : n-gakko@city.kasugai.lg.jp

学校のこれから通信(坂下中学校区)では、坂下中学校区における学校統合に関するお知らせや現在の取組状況などについてお伝えします。

これまでの通信はこちら

坂下中学校区の学校づくりを考える懇談会の検討状況

保護者や地域の代表の方、学校関係者などで構成する懇談会を開催しています。これまで小中一貫教育制度や学校の設置場所について、3回にわたって開催してきました。

なお、第4回懇談会は、「学校のこれから通信 No.5」でご案内のとおり、10月30日(金)に開催し、主に通学バスについて意見交換を行います。

第5回坂下中学校区の学校づくりを考える懇談会を開催します
～新しい学校づくりの話し合いの様子を見学に来ませんか？～

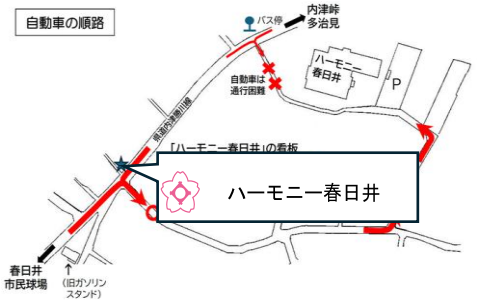
1 日時　**11月25日(水) 午後1時30分から午後3時30分**

2 場所　**青年の家(ハーモニー春日井) ホール**

※　第5回懇談会では、主に「統合に向けた計画案」について構成員の方と意見交換を行う予定です。懇談会は公開で行うため、傍聴することができます。 傍聴希望者は開催場所にお越しください。

ハーモニー春日井(青年の家)へお車でお越しになる場合

県道内津勝川線(旧国道 19 号線)の「ハーモニー春日井」の案内看板で曲がってください。西尾バス停付近で曲がる道は、幅が狭く自動車の通行は困難です。(カーナビゲーションシステムによっては、そちらの道を優先して案内するので注意してください。)
(注意)県道内津勝川線(旧国道19号線) から先の道は、地域の皆様の生活道路です。



意見交換会(9月27日開催)について

坂下中学校区の保護者や地域の皆様を対象に、懇談会での検討内容や学校統合に向けた市の考え方をお示しし、意見交換を行いました。参加者数は21人でした。

意見交換会では、**同じ敷地内に小学校と中学校がある施設一体型の小中一貫教育制度を導入すること、坂下中学校の敷地に、小学校3校を統合した新しい小学校と中学校を新設すること**を本市の考え方としてお示ししました。また、新しい学校を整備するため、既存の坂下中学校の敷地を活用するとともに、隣接する用地の取得を進めることを説明しました。

開校までのスケジュール案については、用地の取得をはじめ、敷地を整える造成工事や校舎等の建築を進め、令和15年度または16年度の開校を目標に進めていくことをお示ししました。

これらの説明を行った後、参加者の皆様と意見交換を実施し、参加者からは、統合の進め方や通学についてなど、様々なご意見をいただきました。



意見交換会

※ 裏面に続く

○ 主な質問と回答

【質問1】

子どもたちにとって安全な通学環境について、最近は坂下中学校の周辺の道路に大型ダンプや大型トラックの出入りが多い。その辺りを中学生が2列で歩いていたりすると危ない。通学における安全についてもしっかりと検討を進めてほしい。

【市の考え】

坂下中学校の敷地に統合した学校を設置する場合、通学の方法としてはバス、自転車、徒歩、場合によっては保護者が送迎するなど、様々な通学方法が想定されます。通学路についてはこれからの検討にはなりますが、ご意見のとおり、子どもたちの安全面は最も大事なことであると思いますので、しっかりと対応していきたいと考えています。

【質問2】

小中一貫校は決まったようなものとして話は進んでいるかと思うが、再度、就学児や未就学児の保護者、これから子どもを持つかもしれない方に対してアンケートを取り、賛成かどうかを聞くべきであると思う。

【市の考え】

小中一貫教育制度についての心配や不安があると思いますが、今の段階でアンケートをあらためて取り直すことは考えてはいません。このような意見交換の場や今後作成する統合計画に対するパブリックコメントなどの機会がありますので、それらを通じて皆様から様々な意見をいただきたいと考えています。

【質問3】

統合計画について、西尾小学校と神屋小学校を先行して統合する場合どうなるのか。西尾小学校と神屋小学校が統合すれば、3校統合の必要はなくなるのか。

【市の考え】

仮に西尾小学校と神屋小学校が先行して統合をしたとしても、令和9年度でも各学年で複数クラスは確保できない状況です。そのため、あくまで小学校は3校統合が前提となります。

多治見市立笠原小中学校の視察について（10月8日実施）

新しい学校づくりの検討にあたり、本市と「坂下中学校区の学校づくりを考える懇談会」の構成員で、令和8年4月に義務教育学校（小中一貫教育制度の一形態）として開校した多治見市立笠原小中学校を視察しました。視察では、学校施設や授業風景を実際に見学し、新しい学校のイメージを深める貴重な機会となりました。



学校施設の見学の様子

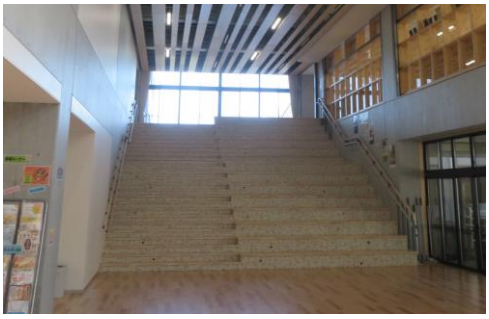
○ 参加者の感想

【保護者】

小学生と中学生が一緒に学校生活を送っている様子が見ることができて、イメージが湧いた。統合に関することで不安もあるかもしれないが、皆で協力してよりよいものにしていけると思った。

【地域の方】

小学校と中学校の施設が共有できるため、例えば、前期課程の子が後期課程用の図書館を利用できることなど、効率がよいと思った。また、行事で小学生と中学生が交流して学校生活を送っていることはよいと思った。



大階段と合唱などのイベントでも利用している交流スペース

児童生徒数推計や、懇談会及び意見交換会の会議録を市ホームページ（右に記載のQRコード）に掲載しています。

